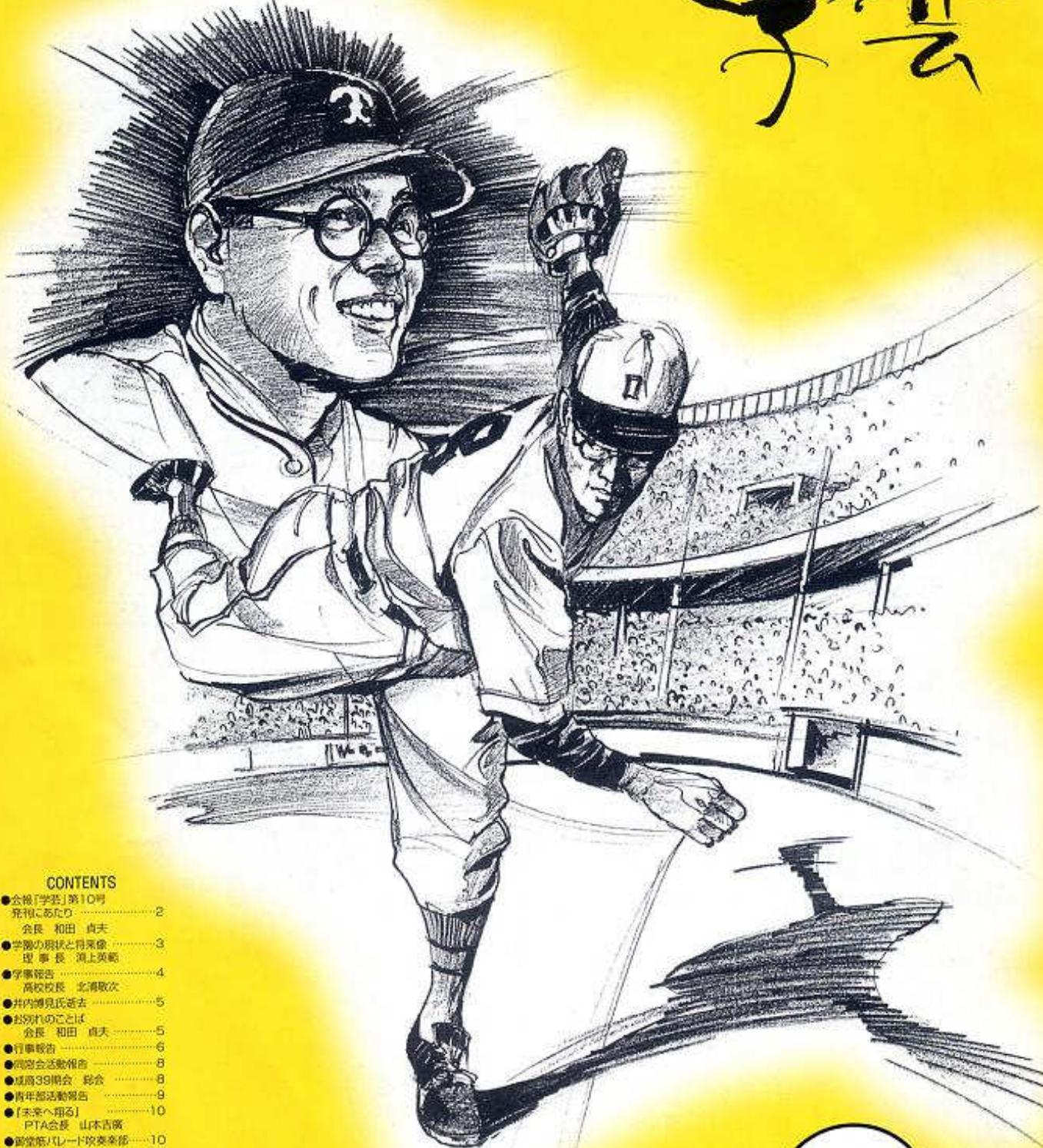


学芸



CONTENTS

- 会報「学芸」第10号
発刊にあたり 2
会長 和田 貞夫
- 学園の現状と将来像 3
理事長 須上英祐
- 学事報告 4
高校校長 北浦敬次
- 井博見氏逝去 5
- お別れのことは 5
会長 和田 貞夫
- 行事報告 6
- 同窓会活動報告 8
- 懇親39周年 終会 8
- 青年部活動報告 9
- 「未来へ用る」 10
PTA会長 山本吉廣
- 講堂席パレード演奏委嘱 10
- 平成17年度井筒行事のご案内 11
- 卦報 11
- 「学園開拓者之慰靈碑」
建立にご協力を 12
- 慰靈碑建立寄付者芳名録 13
- 平成17年度同窓会への
募金方お願い 14
- 便事 14
- 募金者芳名録 15
- 平成17年度決算報告 16
- 年会費納入に
ついてのお願い 18
- 故桜井忠義氏の生い立ち 18
- 平成17年度総会及び
懇親会のご案内 19
- あとがき 19

第10号
2005



成器学園同窓会
(現)大阪学芸高等学校

会報 第一〇号発行にあたり



同窓会会长 和田貞夫

本年は第一次世界大戦で敗戦して六〇周年を迎える」となります。現大阪学芸高等学校の前身である浪速区馬渕町の成器商業学校校舎は戦災によつて焼失し、住吉区長居の現校舎敷地にあつた一棟四教室から成器商業学校として再建されたのであります。

誠に感慨深い年ではないかと思いま

す。
壇に立ち、立派な卒業生を輩出する役割を果す」と努める。」のことを繰返すことが出来ないものかと常に思考しているところであります。

又社会人になつてもそれぞれの分野で頑張り、同窓の意識を常に持ち、お互いに助け合う」ということが出来ないものかなあと考える時があります。

それには自分の卒業した母校の名前を堂々と他人の前で言えるような学校にする」とがまず第一であると存じます。その役割を担当するのが同窓会である仲間でありたい」と口癖にしておられます。一〇〇年の学校歴と三万名といふ卒業生を擁する」とは本校のこの上ない誇りであると思います。

卒業生が優秀な生徒を集める役割を負い、教師を目指す卒業生は勉学に勤しみ、優秀な教員になつて本校の教

低一~三名の事務局員が専従しています。

本年の総会ではそのような同窓会組織強化の方針案を議論して見ようかと思っています。

私はそれにはまず次の課題について議論する必要があると思います。一つ

は「同窓会員の連帯意識」、二つ目は「同窓会の財政基盤」、三つ目は「同窓会の事務局設置」についてです。渡辻顧問が訴えられるように「卒業生はいつまでも兄弟という気持ちで付き合いが出来る仲間でありたい」という意識が大切です。それが同窓会員の連帯意識だと思います。

連帯意識が高まれば自ずから財政基盤を確立する方途を見出せる」とが可能であり、事務局体制を確立するのも困難ではないと思います。再びに向けて出発をした敗戦という地点から六〇周年を迎える今年こそを同窓会強化のための出発点にしたいのです。全

同窓会がその様な任務を背負うにあります。現在の同窓会のように事務局も無く、事務員が一人もいないといふような実態ではそのような任務を果すことは無理です。他校の同窓会は最

同窓会顧問が逝去され、十一月七日に静かに葬儀が取り行われ、同窓会役員も多数参加して葬送致しました。改めて井内博見氏の「冥福をお祈り致します。

同窓会として明るいお知らせもあります。

同窓会の創立のために当時校長をしておられた渡辻辰夫顧問や35期卒業生本幸太郎先生らと努力され、初代会長に就任された同窓会の基礎をつくられた伊丹啓次同窓会名誉会長が昨年十二月二十一日に白寿を迎えられました。

現在も「健康で、お会いする」とがいると私たち役員を励まして戴いております。本年の誕生日である十一月二十一日には満一〇〇才を迎えることになるのです。伊丹名誉会長には、健康に留意され、同窓会の発展のためになおご高見を賜りますようお願い申します。

卒業生、同窓会員の「理解」と「協力をお願い申し上げます。
昨年は同窓会の功労者の一人であります前同窓会長であり、学校法人大阪学芸の前理事長でありました井内博見

学園の現状と将来像



理事長

渕上英範

卒業生の皆さん、母校への変わらぬ「ご支援・ご協力」心より感謝いたします。

まず初めに去る十一月五日急逝された前理事長また前同窓会会长であった井内博見先生の「遺徳を偲び、心からご冥福をお祈りいたします。

井内先生は、四年間の理事長職を今年三月に終えられたばかりで、八月下旬の学園の研修会には元気な姿を見せておられました。

まだまだ学園の事について「指導いただく」とが沢山あつたのにという残念な思いで一杯です。後を引き継ぐことになりました私としても、前任者の築かれた実績を踏まえ、一層学園を発展させすべく努力したいと決意しております。

創立百一年を迎えた大阪学芸は、生徒数二千五百十名（十月一日現在）で史上最高の生徒数となっています。中学校・高校合わせた生徒数で一千名を超

える学校は約十校（府下高校三百九十五番目に位置しています。

「生徒数が多いことは良いことか」と問われれば、「一般的には「人気のパロメーター」として、また「生徒や保護者のニーズに応えている」学校として「良いことだ」と言えるのではないでしようか。

ただし教職員数や施設・設備等に対して適正規模を超えるれば教育の質の低下をもたらしますので、この点については十分配慮していきます。

大阪の私学では募集定員を充足出来ない学校が三分の一もありますので、生徒数が多いことを素直に喜びたいと思います。

五、六年前の学芸高校は生徒募集では青息吐息でした。（表参照）

十二年度には募集定員三百六十名に対し入学生徒一百九十九名、全校生徒も九百九十六名に激減し、昭和三十一年以来、四十四年振りに千名を割ってしまいました。

このままいけば高等学校は潰れてしまうのではないかという危機感に陥りました。

生徒数減少に歯止めをかけるべく、平成十二年度に取り組んだ改革によつ

て、翌十三年度から志願者が急速に回復し、十六年度に至っては大阪私学で一番目の志願者数となりました。

あまりの志願者の急増で生徒収容能力にも限界がきたので、十五年度からは抑制のため合格基準の引き上げを三年連続で実施しましたが、増加の趨勢はなかなか衰えません。

改革に着手して五年目、ようやく曙光が見えてきたように思います。

「国公立（選抜特進）コース」を設けました。スタート時は一クラスの予定ですが、いずれ理系と文系に分けた複数クラス編成にしたいと考えています。「Jの「選抜特進」コース」を将来の中核に育てるため、万全の態勢で臨むつもりです。

一日も早く目標を達成して、受験勉強だけに窮屈としないですむ、ゆとりのある学校造りをしたいのです。偏重されている「学力」だけでなく、生徒達が持つあらゆる能力を引き出す全面発達の教育（全人教育）こそが教育の理想だと考えています。

学園・学校の将来像をどう描いているのかについて私見を述べさせていたしました。学校規模として、高等学校千二三百名（各学年十クラス）、中等教育学校九百六十名（各学年四クラス）、合計一千百六十名（五十四クラス）の規模を維持したいと希望しています。この規模だと財政面で安定します。

次に大学進学面では両校合わせて公立大学百名以上（現在私学で十一

校）、関関同立大学二百名以上合格させることが十年先の目標です。大変厳しい目標ですが、教職員の総力を結集して、実現を図りたいと考えています。

少子化による生徒数の減少により、「学校数が多くすぎる」という時代が到来しつつあります。半世紀後には大阪の私立学校は半分以下に減少するでしょう。「生き残り」をかけた激しい争いに打ち勝つためには、どうして大阪の私立学校の仲間入りをしなくてはなりません。

大阪の私立学校は半分以下に減少するでしょう。「生き残り」をかけた激しい争いに打ち勝つためには、どうして大阪の私立学校の仲間入りをしなくてはなりません。

生徒募集の推移

年	度	募集定員	志願者数	入学者数
平成6年度		450	1,036	401
平成7年度		430	1,078	417
平成8年度		420	1,025	410
平成9年度		400	787	365
平成10年度		360	795	353
平成11年度		360	786	377
平成12年度		360	712	299
平成13年度		360	1,117	411
平成14年度		360	1,710	591
平成15年度		360	1,961	609
平成16年度		320	2,344	636

学事報告



高等学校 校長

北浦 敬次

平素は本校教育の充実発展のため
に、同窓会の皆様から力強いご支援を
賜り深く感謝申し上げます。

本年四月一日より学校長に就任いたしました。昨年創立100周年を迎えた歴史と伝統に輝く本校の教育を引き継ぎ職責の重大さに身のひきしめる思ひがいたします。教職員とともに教育活動の一層の充実・発展に努めていく所存ですのでどうぞよろしくお願ひいたします。

「一人一人の生徒を大切にする」を

モットーに本年度教育活動全体を通じて達成すべき実践的な教育の目標を次の四項目とし取り組んでいます。

- ① 自主的・自律的学習態度を養い学力の向上と進路保障。
- ② 社会規律の尊重と品位ある生徒の育成。
- ③ 人権の尊重と協力できる学校生活。
- ④ 海外での体験により国際的視野をもつた生徒の育成。

一つ一つの目標を確実に達成するため教職員が知恵を出し合い、さまざまな新しい取り組みを創意工夫し、心一つに力を合わせて日々と実践しています。

め教職員が知恵を出し合い、さまざまに力を合わせて日々と実践しています。

〔平成16年度 三年制課程学事報告〕

平成15年度卒業生三百六十四名の

進路は、大学進学希望三百四名、専門学校五十五名、就職五名で大学合格状況は国立大学五名、関関同立六十名、産近甲龍桃九十六名。共学の進学校として生徒、保護者の期待と信頼に応えるのは国公立大学をはじめ有名・難関私大への合格実績を伸ばすことであり学力向上のための様々な取り組みを実施しています。

本校への志願者は急増しています。

本年の入学生は最多の六百三十九名となり、入学式はやむなく学外の帝国ホテル大阪で実施しました。在籍生徒総数は千七百七十三名四十二学級あります。余裕教室がない状況です。平成十七年度入試においては共学の上位進学校への飛躍をめざし、全コースの大幅なレベルアップとともに既設の私立大学進学を目指とした特進理数、進学の三

コースに加え、ハイレベルの選抜特進コースを新設し三年後国公立大学現役合格をめざします。

クラブ活動は運動部八、文化部六、同好会三の計十七クラブがあり女子の入部も増え、恵まれた環境の中で活動に活動しています。

全国の強豪校として知られている空手道部は男女とも限られた活動時間の中で鍛錬に励んでいます。大阪高校総体では男子団体型で三十一大会連続優勝、女子個人型でも優勝、さらに大阪高校新人大会では型競技で男女の団体、女子の個人で勝ち三冠を達成しました。

野球部は高校野球選手権大阪大会において二回戦まで勝ち進み、三回戦で強敵城東工業に敗れ次年度こそ三回戦の壁を乗り切ろうと練習に励んでいます。

文化クラブでは吹奏楽部は中地区大会で金賞、府大会で銀賞、舞洲アリーナで行われたマーチングコンテストでは一年生と二年生が頑張り銀賞を受賞しました。十月十日の御堂筋パレードにも参加し盛大な声援をうけました。

美術部は「アートは心の言葉」というキャッチフレーズのもと構想を練り、懸命に取り組み大阪私立学校美術展覧会で、洋画部門で優秀賞、奨励賞、テーマ部門で奨励賞を受賞しました。

展覧会の様子と受賞作品が本校ホームページにて掲載されていますのでご覧ください。

教育活動の一つ一つを大事にし、頑張っている先生方と強力なチームワークで取り組み、進学校として活力とともに明るさのある学校づくりに全力を挙げたいと思います。

同窓会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝をお祈りいたしますとともに、学校に対する一層のご支援をいただきますようお願いいたします。



学園前理事長 同窓会前会長

井内博見氏逝去

井内博見氏は成器商業高校の二期生で、関西大学二部・関西学院大学に学ばれ、卒業後大阪銀行監査役、不動建設株副社長、福祉産業(株)社長等の要職に就かれて活躍、その後本校法人事長、同窓会会长に就任、本校発展に盡くされました。特に本校創立一〇〇周年の記念行事に取り組まれ成功を収められたことは記憶に新しいところであります。同窓会としては掛けのない人物を失い大きな損失であります。皆さんと共に井内さんの業績を讃え、哀悼の誠を捧げたと存します。

なお葬儀は昨年十一月七日(日)に美原町の南大阪会館で執り行われ、和田貞夫同窓会会长が葬儀委員長をつとめ、同窓会を代表して別添のような弔辞を述べられています。

合掌

お別れのことば

葬儀委員長 成器学園同窓会 会長

和田貞夫

前学校法人大阪学芸理事長、前成器学園同窓会会长 故井内博見さんのご靈前に謹んで哀悼の誠を捧げます。

井内博見さん「井内さん、なぜそんなに急いで逝ってしまったんや」「あなたとの約束があったやないか」「学園理事長の任期が終わつたら、同窓会長の職に帰るから、それまで私に同窓会長の職を引き受けてくれ」ということだったやないか。理事長の任期も終わり、身体も健康に向かいつつあるとのことだったので、九月初旬にあなたと天から料理で一杯呑んだとこやないか。それがあなたの最後の出会いになるとは微塵にも思つていなかつた。誠に残念でなりません。

九月二十四日に検査入院したと奥様から連絡を受けたので、直後の同窓会員会にはその旨を伝えましたが、十月に入りましても奥様からその後の様子が伝わってきませんので、再々電話をしますが通じません。十月二十三日留守電に記録しました処、翌日奥様から電話があり、入院先を無理矢理教えて戴き、早速駆けつけましたが、

もう話すことも出来なくなつたあなた姿に接し、日々手を握つて帰るより仕方なく、ひたすら回復を祈るのみでした。従つて、学園にも同窓会にも連絡する気にはならなかつたのです。

「なぜ私との約束を果たさずに逝つてしまたんや」.....。

あなたは昭和七年一月二十八日に大阪市で生まれ、地元の小学校から昭和十九年四月、私立成器商業高等学校に入学、昭和二十五年三月、成器商業高等学校第二期生として首席で卒業、日本銀行に入社されましたが、向学心にさめやらないあなたは関西大学二部に学び、関西学院大学一部に編入、同大学を卒業後、大阪銀行に入社されています。昭和五十七年四月には不動建設株式会社へ顧問として出向され、平成七年、副社長を最後に退社されています。その後平成十一年まで福祉産業株式会社社長に就任されていました。

あなたは稀に見る「温厚明敏」な人と成りの方で、その頃から母校の学校会員会にはその旨を伝えましたが、

十月に入りましても奥様からその後の様子が伝わってきませんので、再々電話をしますが通じません。十月二十三日留守電に記録しました処、翌日奥様から電話があり、入院先を無理矢

理教えて戴き、早速駆けつけましたが、力され、その後進学校としての成果をあげつつあります。又、100年の歴史

と三万人の卒業生を擁することを誇りとする旧成器高等学校・現大阪学芸高等学校的100周年記念という大行事に取り組まれて成功を収められましたことに對し、敬意を表するとともに学園史に井内博見の名が永久に刻されることになるでしょう。あなたは又誰よりも母校を愛し、同窓会活動に熱意を持っておられました。平成七年五月の同窓会総会で成器学園同窓会会长に推されて就任し、平成十二年三月までその任務を全うされましたが、この間同窓会運営が大きく改革されています。総括的な指揮を執る会長職の役割は勿論のことですが、細部にわたり、記録による報告の仕方、銀行マンらしい詳細な数字をあげての財務、会計の説明等は見事な会長振りであったと思います。

「生者必滅、会者定離」は浮世の習わしとはいうもののあなたの急逝は今もつて実感となり得ません。

ここに井内博見さんの在りし日の面影を偲び、あなたの功績を顕彰するとともに願わくば安らかに昇天せられ、在天の光となられ、節夫人を始めご遺族の前途と、学校法人大阪学芸並びに成器学園同窓会の発展にご加護給わらんことをお願い申し上げてお別れのことば(葬儀当日の弔辞全文です)といたします。

安らかにおねむり下さい。

行事報告

平成16年度
定期総会
懇親会が開催される

副会長 仲 西 晃

質・量とも向上し教室がたりず困っているという嬉しいお話し、北浦敬次校長より詳しい学事報告などご挨拶を受けました。

議長は米田弘副会長、副議長に漣良介副会長が選出されました。

報告事項、平成十五年度「行事報告」西野仁彦副会長・「決算報告」井原靖一、副会長兼会計・「監査報告」本田重彦会計監事・「青年部活動報告」寺下正浩青年部部長からそれぞれ報告されました。

審議事項、「平成十六年度行事計画予定（案）」足立好一副会長・「予算（案）」井原靖一副会長兼会計・「規約改定」和田貞夫会長・「役員改選」上野寅次郎副会長・「同窓会名の変更」和田貞夫会長がそれぞれ担当され、すべて承認可決し、田仲弘義副会長より閉会の挨拶があり閉会いたしました。

学園側から渕上英範新理事長、北浦敬次新校長出席の中、司会者仲西晃の開始宣言で始まりました。和田貞夫会長の伝統ある我が同窓会の発展と更なる学園の発展に期待する趣旨の挨拶があり、続いて渕上英範理事長より

質問に引き続き午後五時より同場所に於いて懇親会が開催された。

《懇親会》



平成16年度 総会出席者

副会長 西野仁彦
今年も例年通り八月七日（土）～八日（日）と普賢院への一泊旅行が取り行なわれました。

下界が猛暑だったので、極楽橋からケーブルが登るにつれて高野山の涼しい風を実感した。又、普賢院では実際に美しく真紅に咲いた百日紅が我々を迎えてくれた。

「昨年来の宿題」というか「学園関係物故者之慰靈碑」を建立する為の墓地代金の残り「金壱百四拾万円也」を先程当院に支払い、土地丈は同窓会の物となつた。又墓所には、普賢院の方で明記した木柱を建てて置くと「約束をした」との会長の挨拶、足立副会長の乾杯と和やかに時の経つのを忘れる宴が始まつた。

翌日は早朝からの勤行に全員参加、学園関係物故者の靈に念じ又、参加者それぞれの御先祖の靈に思いをはせ、仏塔地下では、遠くネバールより貢い

高野山普賢院一泊と
楳の湯温泉旅行

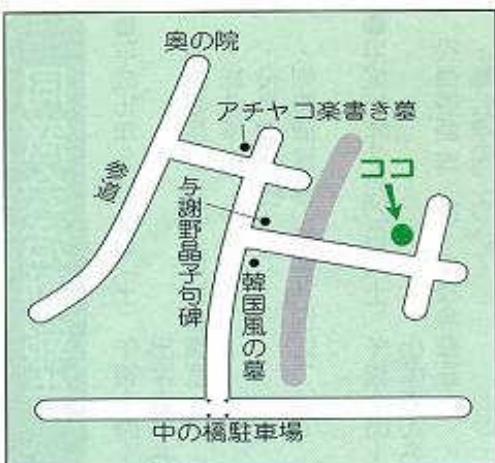
うけたという余利を挙げた。

記念撮影の後、バスにて奥の院近くまで送って頂き参拝、帰路、墓地（地図参照）に立ち寄り中の橋駐車場へ、

一度普賢院にもどり高野橋の湯温泉から迎えのバスにて温泉へ、秘境に湧き出る、マツタリとしたお湯につかり

天然鮎の塩焼きをいただき、日頃のストレスを洗い流す、ゆったりとした時を過ごしました。

この様な、のんびりとした旅に多くの方々の参加を期待致しますと共に、墓地は手に致しましたが、墓石の代金はこれからですので皆々様の大いなるご協賛ご寄付のほど、宜しくお願ひ申し上げまして、旅の報告と致します。



事務局長 甘 佐 勝
平成十六年度
秋季懇親会開催
平成十六年十一月二十日（土）午後六時三十分より、道頓堀ホテルに於いて秋季懇親会が開催されました。
ご来賓として学園から済上英範理事長・北浦敬次校長先生・理事の先生方始め部長以上十名の先生方・PTA会



高野山普賢院 出席者

長山本様・副会長島村様・向山様二名のご臨席と同窓生五十名（計六十数名）の出席を戴きました。

既に準備された撮影の位置に整列し

撮影された。（道頓堀ホテルの好意により集合写真を帰りに一枚づつ配られた。）

定刻通り司会者の米田耕作副会長から開宴宣言された。

一部が始まる。物故者への瞑想に続き

「和田貞夫会長の挨拶」「渕上英範理事長の挨拶」そして「北浦敏次校長先生の学事報告」等ありがたい挨拶と報告を賜りました。

これより二部に入ると司会の合図により藤井昭三顧問の乾杯の音頭で宴会に入り、CYミュージック（女性ボーカル・グループ）の華麗なダンス・魅了する歌声で大いに盛り上が



平成16年度 秋季懇親会出席者

り、女性ボーカルの歌手とデュエットで十曲ほど自慢の喉を競い合い、時間の経つのも忘れて楽しい一時を過しました。

同窓会活動報告

- 平成16年3月6日 (土) 午後1時 出席者14名
 - ・役員委員会 於 本校会議室
 - ・総会準備について
 - ・役員改選について
 - ・慰靈碑建立の募金状況について

- 平成16年3月27日 (土) 午後1時 出席者20名
 - ・役員委員会 於 本校会議室
 - ・総会準備について
 - ・役員改選について
 - ・規約の改定について
 - ・組織の改革について
 - ・役員構成の見直しについて
 - ・同窓会の改名について

- 平成16年4月17日 (土) 午後2時 出席者20名
 - ・第1回役員委員会
 - ・総会議案(決算・予算・事業計画案)
 - ・役員改選について
 - ・規約の改定について
 - ・同窓会の改名について

- 平成16年8月7日 (土) ~ 8日 (日) 参加者13名
 - ・高野山普賢院一泊と横の湯温泉旅行

- 平成16年10月2日 (土) 午後2時 出席者16名
 - ・第3回役員・委員会 於 本校教室
 - ・報告事項(和田会長より提案)
 - ・仲西晃氏副会長に推挙
 - ・11月20日 (土) の秋季懇親会準備について
 - ・会報編集について

- 平成16年10月6日 (水) 午後3時、出席者58名
 - ・定期総会・懇談会 於 道頓堀ホテル
 - ・総会に続いて同場所にて懇親会が催された。

- 平成16年11月5日 (金) 午後3時、出席者18名
 - ・同窓会・前会長井内博見氏(逝去)
 - ・11月6日 (土) 通夜・参列者 和田会長・副会长等

11月7日 (日)
告別式・参列者 伊丹名誉会長・和田会長・副会长

伊丹名誉会長・和田会長・副会长

成商39期会総会



平成16年度 39期会総会

平成16年度の39期会総会は、十月一日開催されました。当口十五時に、記念碑前に集合して記念写真を撮ったあと、昔の学校生活を思い出しながら学校のあった跡地を見て歩きました。その後、大國主神社横のザ・グランドティアラ大阪に会場を移し、参加者十二名で懇親会を開きました。
和田会長より挨拶のあと、学校と同窓会、39期会の現状について報告されました。その中で、今年三浦美乗君と濱中豪君の死去が判明し、全員で皆様の冥福をお祈りしました。
懇親会は、広い立派な会場で、料理も大変高級でどれも美味しい、カラオケ設備も整っていてそれぞれが自慢の喉を披露しました。
最後に全員で校歌を合唱し、再会を約束して散会しました。
昭和19年1部39期(安岡記)

平成十六年度同窓会青年部
活動報告

青年部 欽迎会



新卒の面々も真剣な顔で話に聞き入っていました。

3年間の高校生活を終え、新しい生活がスタートして間もない四月二十四日、長居の「御用うどん」にて新卒歓迎会を行いました。大学生活、就職などで、進路は決まりになつたものの、同じ学校の仲間、高校時代の話題や、新生活での近況報告などを相互に行ない、盛り上がっていました。今年も数名の新卒の人達も参加いただき楽しく行なわれました。



青年部主催キャンプ&BBQ大会 於：岩湧山キャンプ場

青年部 キャンプ大会

青年部第四回
「ゴルフコンペ



和気藹々と楽しくプレーさせて頂き、色々なお話を聞かせてもらい大変有意義な一日でありました。

これからも続けていき、このような経験を数多くの方にして頂きたいと思っておりますので、ご支援のほど宜しくお願い致します。 参加者11名



部長の言葉に真剣に耳を傾ける青年部一同

一〇〇四年八月二十一日・二十二日
に河内長野の岩湧山にてキャンプに行きました。

十六名の参加があり、みんなでバーベキューや、夜空の下で話をし、先輩後輩関係なく楽しく過しました。

最後に花火をし、夏の素晴らしい思い出になりました。

青年部第四回
秋季懇親会

活 動 報 告

今年もすばらしい天候に恵まれて、七月十九日（月・祝）に奈良ロイヤルゴルフクラブにて青年部主催の第四回ゴルフコンペを開催いたしました。

今年は吉村先生、笠松先生、前田先生にも参加して頂きました。

本年度の優勝者は鈴木清先生でした。

和気藹々と楽しくプレーさせて頂き、色々なお話を聞かせてもらい大変有意義な一日でありました。

今年も無事に終り、来年はもっとたくさんの人達に集まつてもらって、もう少し楽しい懇親会にしていきたいと思います。

一〇〇四年十月二十二日(日)に堺市にある焼肉料理店「はや」(二国ヶ丘店)にて、青年部秋季懇親会を行いました。

学生、社会人の人達といろいろな話ををして、いい体験ができました。

未来へ翔る



PTA会長

山本吉廣

師走の頃、成器学園同窓会様の益々の御隆盛を心よりお喜び申し上げます。先日は秋期同窓会に御招待いただき現役PTAとして、会長、副会長二名の三名で出席させて頂きました。

昭和十三年～平成十年の同窓会員の方々まで居られ、このような重厚なる歴史を持つ会に出席させて頂きましたことに感激し、感謝いたしております。お陰様を持ちまして、大阪学芸高校は府下で、大人気の有名校、マンモス校に成長いたしました。つきましては大阪学芸高校のPTA活動について一部報告させて頂きます。

マンモス校が由の嬉しい悲鳴の一つとして、平成十五年度の総決算報告に多額の残高を生みました。そこでPTAの活動計画で、何か会員の皆様に還元をと、考えて居りました。そんな折授業料が払えず、卒業証書が貰えない生徒が存在することを知りました。希望大学の入学試験にも合格している、生徒さんたうです。無駄に予算を消化するよりも、まずその生徒を救う手段はないのかと考え、測定理事長先生に相談の結果、既存の就学援助金制度の上乗せする特別就学援助金給付制度の設置を企画いたしました。

平成十五年度PTA総会にて、PT

A規約の一部変更として、大阪学芸高等学校PTA規約第九章、第二十七条、二十八条に特別委員会の設置に関する条項として、新規約設置の同意を得ました。

六月に理事長先生から御賛同を得、

PTAと同額の出資をもつて、七月に大阪学芸特別就学援助会と命名し、銀行に原資金一千万円の会計をスタート致しましたが、多額の公金ゆえ今後の扱いには、正しく趣旨を伝え運営していく為に、まず規約の下案を作成し、運営委員会を発足し、十月にはPTA

会長、二名の副会長、校長、副校长、教頭、副事務長の八名で守秘の義務を誓約の上、委嘱し、続いて同八名に關係する先生を加え審査委員会を発足いたしました。この特別委員会の特別就学援助会は我が校に縁あつて入学された全ての生徒に不測の事態があつて学費に困窮したとしても、無事に卒業して貢えるように援護することが目的であります。そうしたところ早くも該当する生徒が居り、十一月六日に第一回審査委員会を開きました。

産声を上げたばかりの委員会ではありますが、全ての生徒が無事に大阪学芸高校を卒業し、輝かしい未来を創る人材となり、重厚な歴史を持つ成器学園同窓会の一員となっていく事と、当委員会が末永く生徒の援護を続けていく為の御尽力を賜りますよう御願い致します。

最後になりましたが、成器学園同窓会様の今後ますますの御隆盛と、会員の皆様の御健康と御多幸を心よりお祈り申し上げます。

『御堂筋パレード』に母校の吹奏楽部が2004年(H16年)参加。



①大阪なみはや国体に参加 1997年(平成9年10月)

②全国高等学校野球選手権大会に参加。(甲子園球場)

③大阪府吹奏楽コンクールで銀賞、地区大会では、金賞を受賞しました。

尚、2005年(平成17年10月9日(日)) 大江橋～難波間で御堂筋パレードが開催される予定です。)

平成17年度 年間行事のご案内

同窓会では、次の通り平成十七年度の年間行事を開催致します。奮ってご参加下さい。

● 総会及び懇親会

平成十七年五月二十一日(土)(場所・道頓堀ホテル)

三時(総会)五時(懇親会)

● 高野山普賢院一泊と樽の湯温泉旅行

平成十七年八月六日(土)~七日(日)

● 秋季懇親会

平成十七年十一月十九日(土)(場所・ニューミュンヘン大使館)

五時三十分集合 六時間会

● 忘年会

平成十七年十二月二十四日(土)(場所については追って、ご案内します)

*右記諸行事に参加希望の方には案内状を送付させていただきますので、左記宛あ申込み下さい。

FAX・葉書にて卒業期・年度・住所・お名前・TEL・FAX等ご記入の上、ご送付下さい。案内状を送付させていただきます。

宛先 〒558-0033 大阪市住吉区長居一丁目十五

大阪学芸高等学校

成器学園同窓会

TEL〇六(六六九三)六三〇一

FAX〇六(六六九三)五一七三

*やむをえない事情により日程を変更することもありますので、参加希望の方はその都度役員にお聞き下さい。

計 報

「」過去の通知を頂いた方々のお名前と卒業年次を掲載し、故人のご冥福を祈ることともに同窓生名簿をお知らせします。

(敬称略・題出順)

姓 名 卒業期 死亡年月日

徳田 廣(昭和5年卒業) (平15・8・9)

杉本 実(昭和16年卒業) (平15・9・10)

小堀 実(昭和19年卒業) (平15・9・10)

橋村 昭三(昭和21年卒業) (平15・7・1)

野田種八郎(昭和8年卒業) (平13・2・25)

中野進(昭和20年卒業) (平15・1・28)

藤林 直光(昭和23年高校3期) (平13・1・14)

山本 正(昭和36年高校13期) (平15・12・4)

鶴村 正明(昭和11年卒業) (平15・2・5)

正井 博(昭和17年卒業) (平10・2・9)

飼井慶四郎(昭和19年卒業) (平15・1・19)

早崎 隆章(昭和19年卒業) (平15・3・29)

小倉 文彦(昭和19年卒業) (平15・3・8)

浜中 肇(昭和19年卒業) (平16・4・16)

三浦 美栄(昭和19年卒業) (平16・6・18)

前田 三國(昭和3年卒業) (平12・12・19)

柴田 翔(昭和13年卒業) (平24期)

村松 洋丞(昭和27年高校4期) (平14・)

高木 啓輔(昭和33年高校13期) (平15・3・15)

仲地 保(昭和45年高著7期) (平13・8・23)

横山 勝(昭和25年高校12期)

小泉 博之(昭和17年卒業) (平15・12・)

中野(學博)(昭和10年卒業) (平15・12・)

藤村 正明(昭和11年卒業) (平15・7・5)

井上健次郎(昭和4年卒業) (平16・10・1)

山本 義一(昭和13年卒業) (平10・7・25)

赤井 照天(昭和19年卒業) (平15・12・29)

浜口 健一(昭和20年卒業) (平15・8・22)

柏原 後明(昭和23年卒業) (平13・9・)

楠本 俊治(昭和15年卒業) (平26期)

山本 忠夫(昭和24年卒業) (平14・11・)

大矢 隆史(昭和40年高著2期) (平16・1・16)

佐山 敏夫(昭和8年卒業) (平16・11・1)

吉田 稔(昭和11年卒業) (平16・11・8)

高井 義晴(昭和34年高校11期) (平16・8・28)

中村 凡大(昭和16年卒業) (平16・5・)

小川 雄二(昭和16年卒業) (平16・7・12)

河嶋林之助(昭和13年卒業) (平16・11・3)

井内 勝見(昭和25年高校2期) (平16・11・4)

金心 道雄(昭和26年高校3期) (平16・12・3)

「学園関係物故者之慰靈碑」

建立資金の募金にご協力をお願いします。

「学園関係者物故者之慰靈碑」

建立実行委員会

委員長

和田 貞夫

実行委員

上野寅次郎	田仲 弘義	米田 耕作
西野 仁彦	井原 靖二	米田 久米
漣 良介	松村 光三	足立 雅男
甘佐 勝	鈴木 清	寺下 正浩
		仲西 好一
		晃

連絡先（お問合せ先）

西野パイプ(株)

(堺市常磐町二一一一八)

西野 仁彦（同窓会副会長）

TEL:071-1115510803
FAX:071-1115510804

わが母校は校祖遠藤三吉先生が一九〇三（明治三十六）年六月に大阪市浪速区馬渉町（現戎本町二丁目）に建学されてから昨年は一〇〇周年を迎えました。卒業生は約三万名、経済界を始め各界で活躍され多くの功績を残してこられました。私たちの大先輩の中に古い卒業生として川柳の岸本水府先生（一部四期生）、高野山金剛峯寺 元管長の森寛紹師（一部七期生）、喜劇俳優の曾我廻家明蝶師匠（一部二十一期生）等があげられます。このような伝統と歴史を持つ当学園は創立以来の卒業生・教職員・学園関係者・PTA役員等の中で物故者になられた方が多数おられます。これらの方々の合同慰靈碑を高野山の靈地に建立することを三年前の同窓会総会で決定し早速その募金に取り組んで参りました。

1)理解の上出来るだけ多数の方々から応募いただきたいと存じますのでご協力をお願い致します。

一、募金の目標額 一、〇〇〇万円

一、募金の申込み方法 一口一万元

（何口でも結構です）同封の払込取扱票で払込んで下さい。

追記

現在までの応募金額は九十二件 計三百十六万八千二十五円で
もうすでに建立予定地の土地代金は所有者の普賢院に支払い済み
ですのでいよいよ建立費用の募金になります。

慰靈碑建立寄付者・芳名録

慰靈碑建立募金は平成十六年十一月三十日現在
九十二件 金三百十六万八千二十五円也の温かい
ご協力を賜り、深く感謝の意を表し、改めて厚く
お礼申し上げます。(敬啟略・到着順)

平成17年度 成器学園同窓会への 募金につきご支援方 お願い

平素は、成器学園同窓会に対し物心両面に亘り、温かいご支援を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

平成十六年度（平成十五年四月一日～平成十六年十一月三十日までの受付分・到着順）

募金事業は、募金者数八十一名、金額八十万五千百四十九円に達する多額のご寄付をお寄せ頂きました。この募金にご協力頂きました方々のご芳名を15頁に記載させて頂きました。

ここに、改めて深く感謝の意を表します。

既に、ご承知の通り、少しは景気も上向いています。この不安の経済情勢の中では、募金の集まりが悪くななるのも致し方ないことと思われますが、私たちの母校が一昨年六月に創立百周年を迎えることになり、進学校を目指す改革を行つて以降、飛躍的に目に見えて活力を帯びてきました。

その勢いは年とともに高揚し、入学者数では他校の差異がついています。

これを機に同窓会の更なる発展をめざすためにも同窓会報を通じ母校と同窓生との心の絆をしっかりと結びつけ、可能な限り募金活動を続けて実

施致します。

同窓会が健全で活発に運営されている学校は世間の評判も良好です。

この会報を全同窓生にお届けすることで、最近の学園の意氣盛んな様子を知つてもらい、母校への関心を高めて頂き、同時に同窓会活動にもご理解とご協力を得たいと考えております。

平成八年度からは、年会費もお願いし、これからも自助努力で会報の発行を継続するため、同窓会各位の積極的なご支援、同窓会活動の活性化、財政の健全化及び会報継続発行等々に資するため、何卒ご理解を賜り、ご協力、ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

副会長兼書記 田中敏文

募金先 成器学園同窓会	
平成十七年度募金事業本部	
募金本部長	渡壁 辰夫（元校長）
委員	和田 貞夫
蓮 仲西 久米 雅男	米田 弘
寺下 正浩 良介 晃	足立 好一
甘佐 勝 松村 光三	井原 靖二
高木 康之 鈴木 清	本田 重彦
田中 敏文	西野 仁彦
	米田 耕作

● 平成十六年九月五日（日）

大阪府私立中学校高等学校連合会
私立学校優秀クラブ指導者表彰（空手道の部）
受賞 森 松 浩毅 先生

先生は数学科教諭として就任。空手道部の指導にあたられ、女子空手道部を全国選抜大会優勝。国民体育大会優勝に導かれました。

● 平成十六年十一月三日（水）

大阪府私学功労者知事表彰
受賞 山 本 和光 先生

先生は昭和四十四年に数学科教諭として着任以来、勤続三十五年余になります。この間、生徒指導部主任、学年主任担任などを歴任し、学園役員、学園評議員、法人事務局長としても学園の経営に携わって来られました。

慶事



温かいご寄付に感謝します

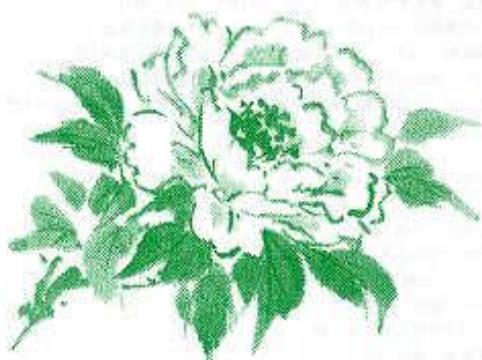
成器学園同窓会・募金事業へのご支援を本会報を通じ、同窓生の皆様にお願いいたしましたところ、多数の皆様から温かいご寄付を頂戴いたしております。ここに芳名を掲げ感謝の意を表します。

◎平成十五年十一月一日以降平成十六年十一月二十日までの受付分は次の通りです。(敬称略 到着順)

署作者六十七名

松村	光三(昭和34年卒)	岡	山	市	市	市	市
井上佐治朗(昭和42年卒)	藤原	守夫(昭和16年卒)	岡	山	石	市	市
水谷	友一(昭和36年卒)	大阪市阿倍野区					
高田	和明(元教員)	南浦喜久雄(昭和35年卒)	大阪市西区				
		具志堅英三(昭和34年卒)	吹	田	市		
故井内博見(昭和25年卒)	吉田	末廣(昭和16年卒)	大阪市住之江区	原	市		
川田	峰夫(昭和20年卒)	豊	中	市			
森田	弘光(昭和26年卒)	京	田	辺			
堂浦	靖司(昭和23年卒)	堺	崎				
飯田八四郎(昭和11年卒)	中山豊次郎(昭和13年卒)	川					
仲西	晃(昭和31年卒)	大阪市阿倍野区					
山内	隆司(昭和20年卒)	大阪市住吉区					
和田	貞夫(昭和19年卒)	堺	尾				
笠井	春樹(昭和29年卒)	大阪市天王寺区	市	市			
啓司(昭和8年卒)	八幡	市	市	市			

榮	榮一郎(昭和21年卒)	大坂市住之江区
寺島	野田種八郎(昭和8年卒)	熊谷市
高野	正也(昭和39年卒)	大阪市住吉区
橋本	博志(昭和60年卒)	大阪市西淀川区
新山	芳豊(昭和21年卒)	石狩市
田中善三郎(昭和17年卒)	明(昭和36年卒)	奈良市
東川	橋本正晴(昭和16年卒)	大阪市東住吉区
青山	博(昭和20年卒)	大阪市平野区
塩田	好一(昭和4年卒)	大阪市中央区
木村佐喜夫(昭和14年卒)	田中敏文(昭和47年卒)	福岡市
渡壁	市郎(昭和40年卒)	堺市
落合	武江栄太郎(昭和28年卒)	東大阪市
辰夫(昭和11年卒)	渡壁直行(昭和17年卒)	南
松田	泉(昭和58年卒)	大阪市港区
峠	堀剛(昭和63年卒)	大阪市東住吉区
井上隆二郎(昭和20年卒)	堺	市
数田	大坂市城東区	
高木	大坂市	
鴨志田長只(昭和21年卒)	中	
北村勝行(昭和61年卒)	張	
紅粉	南河内	
吉田圭一郎(昭和59年卒)	市	
高田良造(昭和23年卒)	西	
岡崎義麿(昭和24年卒)	市	
藤村知明(平成16年卒)	市	
谷口誠亮(昭和33年卒)	市	
松田(昭和32年卒)	市	
大坂市東住吉区		
大阪市住吉区		
大阪市中央区		
大和郡山市		
岸和田市		
大阪市住吉区		
大阪市東住吉区		



平成十五年度 決算報告

副会長兼会計 井 原 靖 二

- 平成15年4月1日から平成16年3月31日迄の収支決算、財産目録は下記の通りです。

収支明細について概要を説明します。

1. 収入面は、平成16年3月の卒業生から納付された会費が二七・一%、同窓各会から寄せられた年会費・寄付金（募金）が二一・八%で残りは、会報広告収入と15年度より開始しました慰靈碑建立募金（四〇・六%）並びに特別会計剩余金（四・二%）等です。

2. 一方支出面は、慰靈碑建立土地手付金（高野山普賢院）百万円で一六・九%並びに同窓生に配布する会報の印刷費と通信費が一・七四八千円で支出の四六・四%を占めています。次いで学園の諸行事（入学式・体育祭）・吹奏楽部の春季発表会演奏出場・空手道部のインター杯出場等、同窓会関係者に対する慶弔費・寄贈費として金一封を贈り諸活動に協力しているのが五・六%を占めています。

その他の支出として卒業生全員に卒業証書を入れる丸筒を進呈したり、同窓会幹事に就任して頂く新卒業生30名に委嘱状と記念品を贈呈している記念品費が一・六%です。又会計処理用の会計ソフト「経理しまん7」・ホームページ挿入用のデジタルカメラの購入備品費として三三・〇〇〇円（支出の一・一%）があります。

- 平成15年度の「募金」は同窓生の「支援」、「協力」により募金者数66名、募金額一八、一四六円に達しました。
- また「年会費」も納入者27名、納入額八三〇、〇〇〇円の温かいご協力を賜りました。
- 「慰靈碑建立募金」についても募金者74名募金額一、六九八、〇三五円のご協力を賜りました。

尚、決算関係諸表につきましては、会計監査を受けた上、平成16年5月15日の定期総会において、ご承認を待っております。

平成15年度 収支計算書

(自 平成15年4月1日～至 平成16年3月31日)

単位：円

収入の部		実 算 額	予 算 額	予算比増減	備 考
通常収入	会 費	1,800,000	1,825,000	-25,000	3年制高校H15年度卒業生入会金 @5,000円×360名
	年 会 費	830,000	1,050,000	-220,000	@2,000円×1名 @3,000円×275名
	寄付金(募金)収入	618,146	1,000,000	-381,854	66名
	広 告 収 入	390,000	450,000	-60,000	会報13コマ×30,000円
	計	3,638,146	4,325,000	-686,854	
経常外収入	慰靈碑建立募金収入	2,698,025	3,000,000	-301,975	74件
	雜 収 入	29,134	10,000	19,134	会員名簿1冊×5,000円・名簿資料準備協力還付金 学級費残金
	特別会計剩余金	280,372	200,000	80,372	春季懇親会精算残金 74,000円 高野山一泊旅行精算残金 2,600円 秋季懇親会精算残金 203,772円
	計	3,007,531	3,210,000	-202,469	
資産 収入	受取利息	1,273	1,000	273	定期預金利息・普通預金決算利息
	計	1,273	1,000	273	
収 入 計	6,646,950	7,536,000	-889,050		
基 金 取 扱	0	0	0		
前 年 度 繰 越 金	4,303,130	5,296,268	-993,138		
合 計	10,950,080	12,832,268	-1,882,188		

単位：円

支出の部		実 算 額	予 算 額	予算比増減	備 考
総 会 費	236,801	200,000	36,801		会場費・記念品代・総会資料印刷・総会経費
建 設 費 事 定	1,000,000	0	1,000,000		慰靈碑建立手付金(高野山普賢院)
慶 事 費	238,950	300,000	-61,050		祝金・見舞金・祭礼供(清酒)・海外研修絆別・香典・供花
寄 贈 費	90,000	200,000	-110,000		空手道部・吹奏楽部への活動援助金 100周年記念体育祭祝金
記 念 品 費	95,400	200,000	-104,600		卒業証書用丸筒 新卒業生幹事委嘱記念品 教職員退職記念品3名
印 刷 費	2,011,317	2,087,000	-75,683		同窓会報「学芸」関連印刷 各行事案内印刷 役員委嘱状印刷
通 信 費	1,465,409	1,500,000	-34,591		同窓会報郵送料 各種会議行事案内往復ハガキ 電話料 インターネットサービス料
青 年 部 会 費	300,000	300,000	0		活動資金支援
広 告 宣 伝 費	0	50,000	-50,000		
支 払 手 数 料	256,820	235,000	21,820		会報表紙デザイン料
事 務 費	0	0	0		
会 議 費	5,700	50,000	-44,300		役員委員会飲料・茶葉子
旅 費 交 通 費	5,860	80,000	-74,140		銀行・郵便局・和田会長事務所訪問交通費
備 品 費	73,040	35,000	38,040		PCA会計ソフト「経理じまん7」・デジタルカメラ(ソニー製)
消 耗 品 費	37,570	50,000	-12,430		文房具・名刺・封筒・合鍵製作
相 税 公 課 費	251	200	51		受取利息に対する源泉税・地方税
其 他 費	98,161	100,000	-1,849		諸会合写真費用 資料コピー
予 撈 費	0	100,000	-100,000		
支 出 計	5,915,269	5,487,200	428,069		
基 金 組 入	0	0	0		
次 年 度 繰 越 金	5,034,811	7,345,068	-2,310,257		
合 計	10,950,080	12,832,268	-1,882,188		

財産目録

平成16年3月31日現在

1. 普通財産(現金預金)

項目	平成15年度	平成14年度	前年比増減
手許現金(会計)	157,118	467,471	-310,353
手許現金(校内開催分)	205,398	217,323	-11,925
普通預金(三井住友銀行西田辺支店)	2,298,495	1,682,524	615,971
普通預金(近畿大阪銀行西田辺支店)	35,384	34,802	582
郵便振替(住吉長居西郵便局・年会費口)	716,610	814,730	-98,120
郵便振替(住吉長居西郵便局・募金口)	1,621,806	1,086,280	535,526
建設報勘定(慰靈碑建立手付金)	1,000,000	0	1,000,000
計	6,034,811	4,303,130	1,731,681

2. 基金

項目	平成15年度	平成14年度	前年比増減
定期預金(近畿大阪銀行西田辺支店)	2,500,000	2,500,000	0
計	2,500,000	2,500,000	0

貸借対照表

平成16年3月31日現在

資産の部		基金の部	
科目	金額	科目	金額
現金	362,516	基金	2,500,000
普通預金	2,333,879		
郵便振替	2,338,416	剩余金	6,034,811
定期預金	2,500,000	(前期繰越剩余金)	(4,303,130)
建設報勘定	1,000,000	(当期剩余金)	(1,731,681)
資産合計	8,534,811	基金合計	8,534,811

剰余金処分計算書

平成16年5月15日

項目	金額
1. 当期末未処分剰余金	6,034,811
2. 剰余金処分額	
(1) 基金組入額	2,000,000
(2) 次期繰越剰余金	4,034,811

募金事業納入状況

区分	平成15年度		平成14年度		前年比増減	
	募金者数	募金額	募金者数	募金額	募金者数	募金額
平成13年度分	一	0	1名	5,000	-1名	-5,000
平成14年度分	一	0	21名	205,000	-21名	-205,000
平成15年度分	1名	5,000	68名	611,000	-67名	-606,000
平成16年度分	63名	569,846	-	-	63名	569,846
特別寄付分	2名	43,300	1名	(2件) 5,000	1名	38,300
計	66名	618,146	91名	826,000	-25名	-207,854

年会費納入状況

区分	平成15年度		平成14年度		前年比増減	
	納入者数	納入額	納入者数	納入額	納入者数	納入額
平成13年度分	1名	2,000	4名	8,000	-3名	-6,000
平成14年度分	3名	9,000	71名	213,000	-68名	-204,000
平成15年度分	72名	216,000	253名	759,000	-181名	-543,000
平成16年度分	201名	603,000	-	0	201名	603,000
計	277名	830,000	328名	980,000	-51名	-150,000

慰靈碑建立募金納入状況

区分	平成15年度		平成14年度		前年比増減	
	募金者数	募金額	募金者数	募金額	募金者数	募金額
平成15年度分	74名	2,698,025	-	0	74名	2,698,025

成器学園同窓会

会長 和田 貞夫

年会費納入についてのお願い

昨年は景気回復の見透しがないまま年明けとなりましたが、同窓会活動について多大なご協力を戴いていることに対し深く感謝申しあげます。本年は敗戦60周年を迎ますが、浪速区の旧校舎は戦災で焼失し、住吉区長居の現校地に一棟四教室から成器商業高等学校が再建され今日に至っているのです。

さて、この同窓会会報「学芸」は同窓生間の絆(きずな)を結ぶ唯一の手段で同窓会が続く限り発行を継続してゆくべきものですが、その発行費用(印刷費と郵送費)が多額の経費となります。年一回の会報によって各種の連絡と報告が行えている限りは止むを得ないと存じます。

同窓会活動をより活発化して行くためにも財政の充実・確立は重要です。今後学園の発展と同窓会活動を充実させるために皆さまの一層のご協力をお願いします。同封の振込用紙をご利用の上、納入方と同期生への働きかけもよろしくお願ひします。

①同窓会年会費 1人3,000円 ②同窓会事業基金 1口1万円(何口でも結構です)

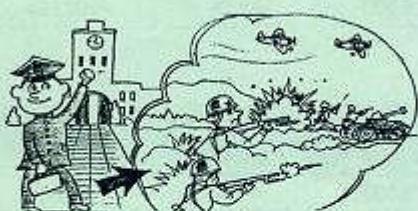
③学園関係物故者慰靈碑建立基金 1口1万円(何口でも結構です)

何れも同封の振込用紙をご利用の上、ご納入方お願いするとともに払込票の受領証をもって領収証に替えさせていただくことにご了承下さい。

※年会費納入状況

年 度	納 入 者	納 入 金 額
平成12年度(平12/4/1~平13/3/31)	434名	868,000円
平成13年度(平13/4/1~平14/3/31)	371名	1,037,000円
平成14年度(平14/4/1~平15/3/31)	328名	980,000円
平成15年度(平15/4/1~平16/3/31)	276名	830,000円
平成16年度(平16/4/1~平16/11/30)	49名	147,000円

専修大学へ進学、大学時代から阪神にマークされていたが、兵役について



大正9年9月26日 大阪市浪速区大同町で生誕



プロ入りは昭和22年、この年22勝8敗32イニング連続無失点の記録達成、9年間で131勝85敗、昭和23年神宮球場をプロが初めて使用した日にノーヒットノーランを達成、昭和27年には21勝をマーク、防御率1位「1.71」のタイトルを獲得した。



昭和13年成器商業学校(浪速区馬頭町)卒業



速球勝負で氣骨を貫いたタフネス右腕
速球勝負で氣骨を貫いたタフネス右腕

元阪神タイガース 梶岡忠義「投手」

平成17年度

同窓会総会及び懇親会

日時 5月21日(土) (忘れないように、手帳・カレンダー)
にメモをしておいて下さい。

《総会》3時より 《懇親会》5時より

会費 ￥6,000円

会場 道頓堀ホテル

TEL 06-6213-9040(地下鉄御堂筋線ナンバ駅24番出口)

大阪市中央区道頓堀2丁目3番25号

各線ナンバ駅より徒歩3分、ニュージャパン西隣

- 出席して頂ける方は同封はがきにてお知らせ下さい。
(総会に出席できない方でも、懇親会だけでも気楽にご出席下さい)
 - 懇親会の出席の方にはお楽しみ参加賞をご用意致しております。

平成十七年度恒例の同窓会総会並びに懇親会を左記の通り開催することになりました。学園の現在の飛躍的な発展、並びに同窓会の「報告等詳しくお聞き頂けると思います。同窓生のお知り合いの方々をお誘い下さいまして、万障お繰り合わせの上、多数のご出席を頂けます様お願い申しあげます。

副会長兼書記
田中敏文

2005年同窓会よりのお願い

成器学園同窓会は昭和49年に創立され卒業生は約30,000名に及んでいます。年1回の発行ですが継続していくためには、同窓生のご協力が必要です。振込用紙を同封いたしますので、あなたと同窓会のためにぜひ年会費と基金の募金並びに慰靈碑建立資金等へのご協力を戴きお振入をお願い致します。

*会報に関してご意見をお聞かせください。

あわせて住所変更、クラス会開催などもお知らせいただければ幸いです。

* 〒558-0003 大阪市住吉区長居1-4-15

成器学園同窓会宛 FAX 06 (6693) 6301 FAX 06 (6693) 5173

*ホームページ <http://www.h3.dion.ne.jp/~gakugei>

*メールアドレス seiki-qakuqei@yahoo.co.jp

○○○あとがき○○○

同窓会会報発刊後早や十年目を迎えお陰様で関係各位のご協力により平成十七年度会報第十号を皆様にお届けする事が出来ました。

一昨年は、本校創立百周年を迎えて「百周年未来へ翔る」大阪学芸を合言葉に、十月二十五日、帝国ホテル大阪に於いて、予定通り百周年記念式典と祝賀会が盛大に開催されました。

同窓会有志諸兄にも多数のご参加を頂き厚く御礼申し上げます。また、

百周年実行委員会及びその関係者の方々のご苦労に深く敬意を表します。

めでたく百周年を迎えた我が母校に大阪府下で第一号の大阪学芸中等教育学校が平成十五年四月一日に予定通り新しく誕生し、中高一貫教育の学校として躍進した事は喜ばしい限りであります。又、昨年度の入学状況も最近の生徒数の減少にもかかわらず、大阪の私立高校のトップを占める勢い、さらに大学への進学実績も好成績で今後益々の躍進を期待する次第であります。最後になりますが、ご寄稿頂きました皆様方並びに広告掲載による協力頂きました方々に深く感謝し御礼申し上げます。終わりに皆様方のご健康とご多幸を心からお祈り致しましてあとがきの」挨拶とさせて頂きます。

副会長兼書記 田中敏文

あとがき

祝 同窓会会報「学芸」第10号発刊

このたびは広告にご協力賜りまして誠にありがとうございます。
会報発行の際、大きな財源となっております。学園と同窓生とを結ぶ会報「学芸」
がより豊富な内容で末永く発刊出来ますよう、役員・委員一同努力を重ねて行きたい
と思います。

<p>同窓会名誉会長 伊丹 啓次 (1部20期・大正14年卒業) 株式会社伊丹ビル社長・大阪学芸顧問 〒561-0814 豊中市豊南町東3-14-4 TEL 06 (6331) 0745</p>	<p>税務・労務・法律・行政をはじめ 中小商工業者のあらゆる相談は… 協同組合 大阪中小企業経営センター 理事長 和田 貞夫 同窓会会长 (大阪学芸顧問・1部39期・昭和19年卒業) 〒590-0945 堺市成之町東2丁目38号 菅原ビル2階 TEL(072)221-5115 FAX(072)221-5055 E-mail: keieif@mb1.kisweb.ne.jp URL: http://www.kisweb.ne.jp/keieicenter</p>	<p>故 井 内 博 見 (学校法人大阪学芸 前理事長) (成器学園 同窓会 前会長) (高校2期・昭和25年卒業) 夫、昨年平成16年11月4日永眠いたしました 生前中頃までご厚情を厚くお礼申し上げます。 〒580-0016 横浜市土田1-2-1-503 TEL-FAX (072)332-5648</p>
<p>足立硝子株式会社 〒556 大阪市浪速区日本橋東2丁目2-6 TEL(06)6643-0335 FAX (06)6643-5677 〒452 愛知県西春日井郡枇杷島町古城2-4-3 TEL(052)506-7505 FAX (052)506-1633 代表取締役会長 足立好一 (高校1期・昭和24年卒業) 学校法人大阪学芸顧問・成器学園同窓会顧問</p>	<p>アルミニウム・マグネシウム (材料・加工品) 表面処理 植田アルマイド工業株式会社 会長 植田健太郎 (1部36期・昭和16年卒業) 本社工場・硬質工場・三重工場 Eメール ua-into@uedaalmito.co.jp ホームページ www.uedaalmito.co.jp</p>	<p>社会福祉法人いわき学園理事長 財団法人住吉名勝保存会理事長 高野 光男 (2部22期・昭和11年卒業) 〒559-0013 大阪市住之江区御崎1-6-29 TEL(06)6681-1300(代)</p>
<p>株式会社 渡壁 (マンション:エトワール弁天) 代表者 渡壁辰夫 (元校長 2部22期・昭和11年卒業) 〒552-0002 大阪市港区市岡元町3-4-5 TEL(06) 6583-4929・0674</p>	<p>電源開発株式会社 磯子火力発電所 構内 洋光産業株式会社 取締役 飯田八四郎 (1部31期・昭和11年卒業) 本社 横浜市磯子区新磯子町37-2 〒235-0017 TEL(045)755-1923 FAX(045)755-1923 川崎営業所 川崎市川崎区小田3-15-13 〒210-0846 TEL(044)333-7184 FAX(044)333-7184</p>	<p>丸善電機産業株式会社 常務取締役 橋本浩行 (大阪学芸評議員・高校(普)18期生・昭和56年卒業) 本社 〒547-0033 大阪市平野区平野西1丁目2番6号 TEL(06)6797-II33(代) FAX(06)6797-II37 中国工場 江蘇省昆山市蓬朗鎮昆嘉工業区通路路 TEL0512-5761-8711 FAX0512-5761-7917 URL: http://www.magnix.co.jp</p>
<p>鉄・ステンレスパイプ 切断専門 環境に優しい商品の取り扱い 西野パイプ株式会社 代表取締役 西野仁彦 (高校11期・昭和34年卒業) TEL(072)255-0803 FAX(072)255-0804 e-mail: nishino-paipu@mbi.nifty.com インターネットショップ(West Field) http://w-field.b-smile.jp/</p>	<p>製パン・製菓用クリーム 惣菜の製造販売 株式会社 田中食品興業所 代表取締役会長 田中善三郎 (2部28期・昭和17年卒業) 〒590-0002 堺市砂道町3丁5番2号 TEL 072(238)0281(代) FAX 072(228)4161 http://www.tanakafoods.co.jp</p>	<p>大阪学芸中等教育学校 指定業者 大阪学芸高等学校 (有)才才サカユニフォーム 北村 裕次 大阪学芸売店 (高校(普)25期生・昭和63年卒業) 〒558-0001 大阪市住吉区大領2-6-27 TEL (06)6695-3929 FAX (06)6693-9716 学校売店TEL-FAX (06)6695-1599</p>
<p>美術印刷・紙器製品 企画・提案・製作 株式会社 ヒラックス 代表取締役 上野寅次郎 (大阪学芸理事・高校9期・昭和32年卒業) 〒542-0062 大阪市中央区上本町西5-2-8 TEL(06)6768-9551 FAX(06)6768-9555 E-mail:hilux@axel.ocn.ne.jp</p>	<p>成器学園同窓会 会報「学芸」第10号</p> <p>●発行日: 平成17年1月25日 ●編集: 同窓会企画部 ●発行所: 〒559-0003 大阪市住吉区長居1-4-15 TEL(06)6693-6301 FAX(06)6693-5173</p> <p>私も頑張っています。広告にご協力を!</p>	<p>■表紙絵及びイラスト 作家プロフィール はら たくみ イラストレーター・日本グラフィックデザイナー協会会員 (原 琢三) アート活動等々世界で活躍中</p> <p>※表紙のイラストは 「母校の薬剤師会会員登録カード」 昭和13年成器商業学校卒業・専修大学から兵 役後阪神タイガースに入団、新人にして速球勝負 で28勝8敗・32イニング連続無失点の輝かしい 活躍で昭和22年転じて優勝に大いに貢献し多くの のファンを魅了した。その他数々の大活躍で野球 界に偉大な足跡を残した我々が大先生に思いを 寄せ大いに語り継いで行きたいものです。 平成15年3月23日承認されました。</p>